

「五郷学習」

農業体験学習(草取り)・レタスの出荷

2018. 6月 (ヨシクマ新聞より)

ヨシクマ新聞 日刊(日曜・祝日翌日休刊)月極1,900円 平成30年(2018年) 6月10日 日曜日

住民と一緒に米作り

五郷 児童生徒が草取り体験

熊野市五郷町の地元建設・建築会社「ふる郷創生実行委員会」(吉田和男委員長・大橋秀行世話人)と五郷小学校、同校の学校は8日、同町の水田で五郷中、小学校の子どもたちと草取り作業を行った。活動の一環として、水を含めて田を乾かす中干し作業の前の草取りを行なった。会員はじめ五郷小、中の全校児童生

熊野市五郷町の地元建設・建築会社「ふる郷創生実行委員会」(吉田和男委員長・大橋秀行世話人)と五郷小学校、同校の学校は8日、同町の水田で五郷中、小学校の子どもたちと草取り作業を行った。活動の一環として、水を含めて田を乾かす中干し作業の前の草取りを行なった。会員はじめ五郷小、中の全校児童生

この日は米作りかけ。続いてJ.A.三重南紀からも営農指導員が参加。世話人の田んぼへ入り草取り開始。昔ながらの「草取り機を使い作

【昔ながらの器具を使い田んぼの草刈りに挑戦する児童生徒】

日刊(日曜・祝日翌日休刊)月極1,900円 平成30年(2018年) 6月8日 金曜日

ほたるの郷で販売

五郷 育てたレタス出荷

熊野市五郷小学校「農産物直売所」ほたるの郷」に、五郷町にた。野菜の栽培から収穫、出荷までの実践を通じて農や金銭感を学ぼうという取り組みで、今年で4年目。レタスは3月に種をまいた。4月には保護者から提供された勝浦のマグロから作った肥料を使って、畑を作った。その後もみんなで苗をポットから畑に植え替え、水やり、草取りなどの世話を続けてきた。収穫の日を迎えた5日は、上級生が下級生を支えながら、立派に育ったレタスを刈り取った。収穫

【ほたるの郷で販売されるレタス】

くさん買ってもらって期待している。ことができたら」

【レタスを収穫する児童】

今年度からコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会では、メンバーでもある、「ふるさと創生実行委員会」「五郷婦人会」が協力し、「ふるさと・五郷」にほこりを持ち、心豊かでたくましく生きる力を育むためにスタートした「五郷学習」の支援を行っています。